

国保だより ~厳しい国保運営に対応するために~ 国保会計の仕組みを知ろう!

市民保健課 ☎57-8506 税務収納課 ☎57-8504



11月号では、国保税率の見直しの検討を始めたことお知らせしました。今月号では、皆さまからいただいている国保税が国保会計の中でどのように使われているのか、今年度の当初予算のグラフをもとに紹介します。

■国保会計の仕組み

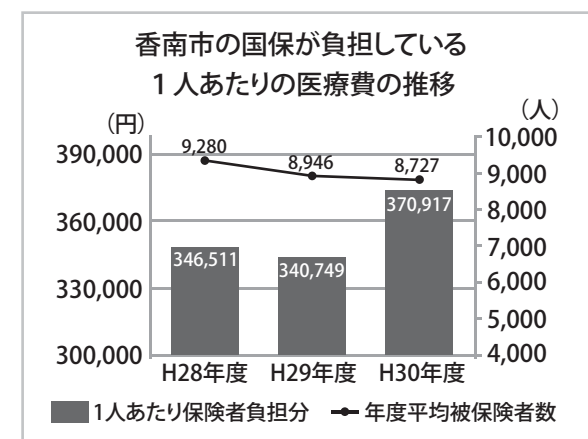
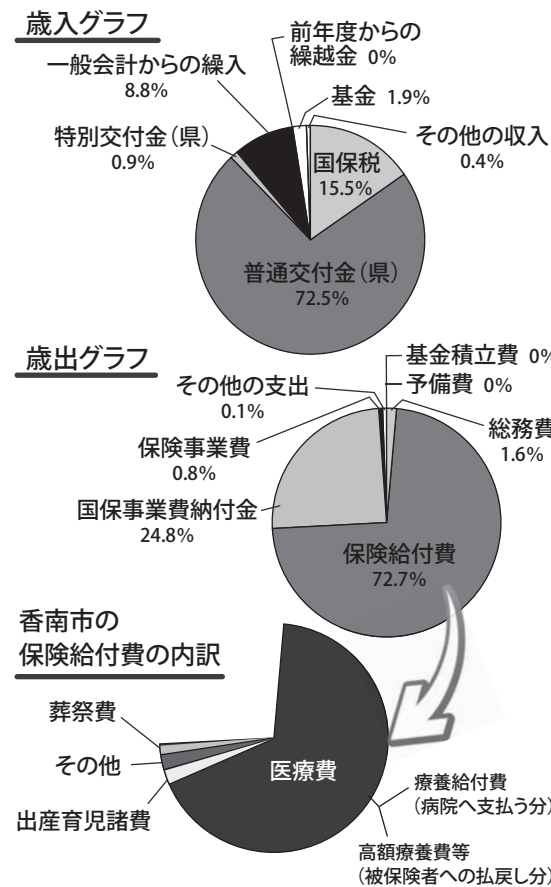
右の歳出グラフによると、支出の主なものは、保険給付費と国保事業費納付金で、歳出のほとんどを占めています。

国保事業費納付金を県に納めると、歳出の7割を占める保険給付費のほとんどが賄えるように、歳入グラフにある普通交付金が県から交付されます。歳出の残りは、職員の人件費や事務費、特定健診にかかる保健事業費などであり、この支出に対しては、歳入グラフにある一般会計からの繰入金や県からの特別交付金が使われています。

ただし、必要な歳出額がこれらの普通交付金や特別交付金、一般会計からの繰入金で賄えない場合は不足分が生じます。この不足分と歳出の4分の1を占める国保事業費納付金を国保税で賄うことになります。

歳出の7割を占める保険給付費の内訳のほとんどが医療費(療養給付費と高額療養費等)であり、被保険者の医療費を国保会計で負担している部分になります。歳出額にしますと、令和元年度当初予算額で約35億円となっています。

国保会計の令和元年度当初予算



■増え続ける医療費

国保が負担している1人あたりの医療費は、平成29年度までは約34万円前後で推移していましたが、平成30年度は、約37万円を超える大幅な伸びとなりました。主な原因は…

- 入院件数が増えたこと
- がんなどの疾病件数が増え、1件あたり的高額な医療費が増えたこと
- 高齢化により被保険者の年齢が上がることで世帯の負担限度額が3割から2割に変更になるため、国保の負担分が増加したこと

医療費は、高額な新薬の承認や10月からの消費税改正等も影響し、今後も増加することが予想されています。

医療費が増加すると、県全体の医療費が増え、結果的には県に納付しなければならない国保事業費納付金が増額されます。この国保事業費納付金を賄うための必要な財源が国保税による税収となるため、適切な医療費の支出を行うように努力していかなければなりません。



次号では、医療費の適正化に向けて、どのような努力をしていく必要があるのかをお知らせします。

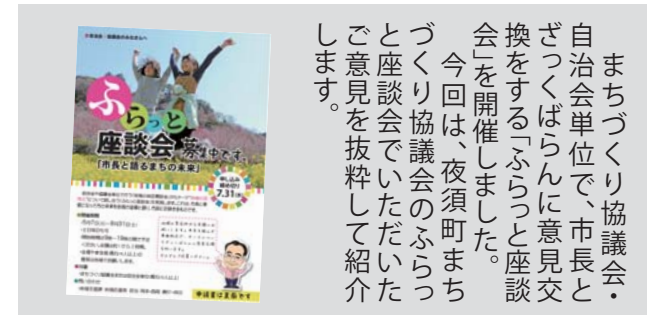


市長と語る。 ふらっと座談会を開催しました!

■地域支援課 ☎57-8503

Q ヤ・シイパークが整備されることにより、夜間の騒音や渋滞等の心配も出てくるが、今後のスケジュールを教えてください。

A ヤ・シイパークは老朽化したところもあり、県と共に計画もしています。地域の皆さまのお知恵もお借りしたいと思っています。整備スケジュールについては、平成24年度から「周辺地域活性化事業検討委員会」、平成29



まちづくり協議会・自治会単位で、市長とざっくばらんに意見交換をする「ふらっと座談会」を開催しました。今回は、夜須町まちづくり協議会のふらっと座談会でいただいたご意見を抜粋して紹介します。

Q ミカン山・高架下へ避難訓練しているが、避難場所に備蓄倉庫がない。真冬・真夏も想定した上で、水や食料等を備蓄してほしい。

A 毎月開催している活性化推進協議会に、夜須町まちづくり協議会から2人参加してもらったので、地域の皆さまと情報共有しながら取り組んでいきます。



Q 津波浸水予想区域の保育所・幼稚園・小学校・中学校と、行政機能を守るため支所、消防屯所を高台へ移転させてほしい。夜須町の防災コミュニティセンターの建設も遅れている。

A 平成30年度に保育所・幼稚園・防災コミュニティセンターの素案を作り、議会でも示しています。保育所・幼稚園を「認定こども園」として、行間団地北に予定しており、おおよその測量もしています。防災コミュニティセンターも今後、菖蒲谷団地

A 避難後、移動可能であれば、1時間程かかりますが運動広場への避難も視野に入れ検討しています。現在、小・中学校に備蓄していますが、津波浸水区域のため、それも含め具体的に検討しています。具体的なスケジュール等、対策の素案ができた時点で、段階的に保護者にも報告していきます。

今年度は、1協議会、3自治会の4カ所で開催をし、62人の方に参加していただきました。ありがとうございました。いただいたご意見やご回答、後日対応の内容につきましては、地区ごとに「ふらっと座談会カルテ」にまとめて地域支援課と野市図書館に設置してありますので、ぜひご覧ください。また、市のホームページへも掲載しています。



西に建設予定です。また素案の段階なので、今後、協議会の皆さまと意見交換しながら、スピード感を持って行いたいと思います。

■令和元年度「ふらっと座談会」開催報告および参加者数

7/11 手結山まちづくり 自治会	13人	8/4 つきみ野・宮の瀬地区 まちづくり自治会	13人	8/23 北部地区まちづくり 自治会	16人	10/1 夜須町まちづくり 協議会	20人
-------------------------	-----	-------------------------------	-----	--------------------------	-----	-------------------------	-----